

SENSHU UNIVERSITY

SCHOOL OF LAW FORUM

VOL.25

3つのポリシー

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

法学部は、卒業認定・学位授与の方針および教育課程編成・実施の方針に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、能力、態度を備えた人を求めます。

法律学科

1. 真摯に法律学を学ぶ熱い意欲
2. 文章の読解、意見の発表、討論、答案・レポート作成などの前提となる国語の能力
3. 学問のグローバル化に対応するための外国語の能力
4. 法律学の学修に直接つながる地理歴史・公民の知識
5. 論理的思考に役立つ数学の基礎的能力
6. 科学的思考に役立つ理科の基礎的知識

政治学科

1. 真摯に政治学を学ぶ熱い意欲
2. 文章の読解、意見の発表、討論、答案・レポート作成などの前提となる国語の能力
3. 学問のグローバル化に対応するための外国語の能力
4. 政治学の学修に直接つながる地理歴史・公民の知識
5. 論理的思考に役立つ数学の基礎的能力
6. 科学的思考に役立つ理科の基礎的知識

遅しく人生を切り開け！

専修大学法学部は、広く深い教養と総合的な知識を身につけ、法律学または政治学に関する専門的な学術（科学・技術）を修得し、日常の中で生じる法と政治の諸問題を適時に発見し、真摯に探究し、最適の解決に導くことができる人材になることを、学位授与の方針としています。

先の話になりますが、大学卒業後も、学生のみなさんは日常的に大小様々な法律・政治問題に遭遇するはず。例えば交通事故を起こしたまたは起こされた場合には、法律が絡んできます。選挙権を行使する場合には、政治への関心が重要です。また、一見すると法や政治に関係ない問題の中にも、法や政治が潜んでいることがあります。そのような問題の解決に際し、無意識にでも専修大学法学部で学んだことが生かされるようになることを、上の学位授与の方針は要求しています。

みなさんが学んだことを生かし、様々な問題を解決できる力を身につけて遅しく人生を切り開くことを願っています。

TANABE Hiroyasu

専修大学 法学部長 田邊 宏康 教授

〈研究分野〉民事法学
〈研究テーマ〉有価証券法、商法総論
〈主な担当科目〉手形法小切手法、商法総則、商取引法
〈ゼミナールテーマ〉現代商法入門

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）



ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは左記QRコードでご確認ください。



1st.

1年次

基礎的素養を養い、
自身の適性を探る

.....

高度な専門知識の学修に先立って、その基盤となる幅広い知識・教養と、将来の研究に備えた基礎的素養を培います。法律学科は12の履修モデルを参考に、政治学科は3コースから自分の将来の希望に沿って2年次以降の学びを決定します。

2st.

2年次

専門的な学びがスタート

.....

専門科目を中心とした講義科目だけでなく、少人数・ディスカッション形式で行われる「法学入門ゼミナールⅠ・Ⅱ」や「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」など演習科目も置かれ、3年次以降の学びのスタイルの定着をはかります。

3st.

3年次

知識の深化と発展をはかり、
研究を深める

.....

興味や関心に応じて専門科目を学びながら、知識の深化と発展をはかります。専門知識の学修のほか、ゼミナールと呼ばれる研究グループに所属し、学生全員の討論により研究を深めていく「専門ゼミナールⅠ」なども始まります。
※早期卒業制度もあります(P26参照)。

4st.

4年次

積み重ねた知識や
研究に磨きをかける

.....

専門科目中心の学修を継続して、自らの専門性をさらに高めます。「専門ゼミナールⅡ」では、学生自身が関心を持った特定のテーマについての研究成果を形にする卒業論文の執筆や研究発表会などを行い、4年間の学びを集大成します。

専修大学入門ゼミナール

専修大学入門ゼミナールでは、大学で学ぶことの意義や講義でのノートの取り方、レポートの書き方、資料の収集方法など、大学で学修するために不可欠な基本事項を学びます。この学びを基礎に、学生たちが実際に図書館やパソコンを駆使して必要な資料を集め、プレゼンテーションのための資料を作成し、自身の考えを報告するという実践的な学びを行います。担当教員からの資料・レポートの添削やプレゼンテーションの技法に関する指導に加えて、同じゼミナールの受講生の意見を聞き、それに答えることを通じて、読解力・思考力・プレゼンテーション力・文章力などを身につけます。



法律学科 法学入門ゼミナールⅠ・Ⅱ

3・4年次に担当されている「専門ゼミナールⅠ・Ⅱ」のプレゼミナールです。法律基礎科目を中心に、法律学の基礎を固めるため少人数でディスカッション形式の授業を行い、学修・研究の基盤を作りながら専門領域の知識を積み重ねていきます。

政治学科 基礎演習Ⅰ・Ⅱ

担当教員がそれぞれ設定した政治学的なテーマに基づいて授業が行われます。「コロナ後の世界」「女性と労働問題」「民主主義とは何か」「近現代日本の政治の論じ方」など多彩なテーマの基礎演習が開講され、学生たちはテーマに基づいてプレゼンテーションやディベート、フィールドワークなどに取り組み、最終的にレポートとしてまとめます。調査力や情報収集力、発表技法や自身の意見を他者に伝える表現力といった、社会でも通用するスキルを高めるとともに、自身の関心が深いテーマについて考察し、知識を深めていきます。

専門ゼミナールⅠ・Ⅱ

3・4年次になると、専門ゼミナールに所属して学ぶことができるようになります。少人数クラスという意味では、1・2年次に受けた基礎的な科目の延長線上にありますが、興味のあるテーマに即したゼミを選択し、さらに専門的にテーマを突き詰めていくのが専門ゼミナールです。長期休暇中に合宿を行い集中的に研究発表・討論をしたり、ゼミナール論文を執筆したりといった、1・2年次の少人数クラスとは違った学修ができます。

専門ゼミナールでの学修こそが、大学生活の醍醐味であり、1・2年次の学修は、専門ゼミナールでさらに地力を高め培うための準備作業だとさえ言うこともできます。そしてまた、専門ゼミナールで培う地力こそが、社会に出て活躍するために必要な力です。専門ゼミナールへの取り組み次第で、今後の職業人としての人生が左右される側面さえありますので、学生全員が真剣に取り組んでいます。



専修大学 法律学科の 未来

DATAで見る法律学科

就職率 (2021年度卒業生)

95.5% *Employment rate*

法律学科卒業生

総数 **52,421人** *Number of graduates*

公務員合格者数 (2019~2021年度累計)

281人 *Number of civil servants*

授業満足度 (2022年度前期授業評価アンケートより)

講義科目 **YES**
76.4% *Course satisfaction*
回答者数 5,583人 科目数 164

在学生 県別出身高校

1都1道2府39県 *Prefectural diversity*



INTRODUCTION

人が自由であるために、そして個人の自由が調和する社会の実現のために法は存在します。

法律学科では、専門的な法的知識を駆使しながら、最善と考えられる法的な解決策を見つけることのできる「法的なもの考え方」、つまり「リーガルマインド」を養成して、幅広い視野と発想力を鍛えていきます。

法律学科

Department of Law

「法は身近なところにある」と聞くことがあると思います。あなたがたった今歩いてきた道も、手にしているスマートフォンもいくつもの法に関わっているものです。では、法は何のためにあるのでしょうか？

それは、人が自由であるため、そして各人の自由が調和した社会の実現のため。この「法を考え抜く能力」がリーガルマインド（法的思考能力）です。

法律学科では、幅広い視野と発想力を鍛え、リーガルマインドをベースに新たな社会の枠組みをつくる法の専門家や企業・公務の第一線でこれからの社会を動かしていく人を育てています。

学科の特徴

法学の基盤となる1年次の学び

1年次は、幅広い教養を身につけながら、大学での学び方の基盤をつくる期間。専修大学入門ゼミナールや基礎文献講読を通じて、法律の学び方と2年次以降の専門領域の基礎を修得します。

多彩で充実した履修モデル

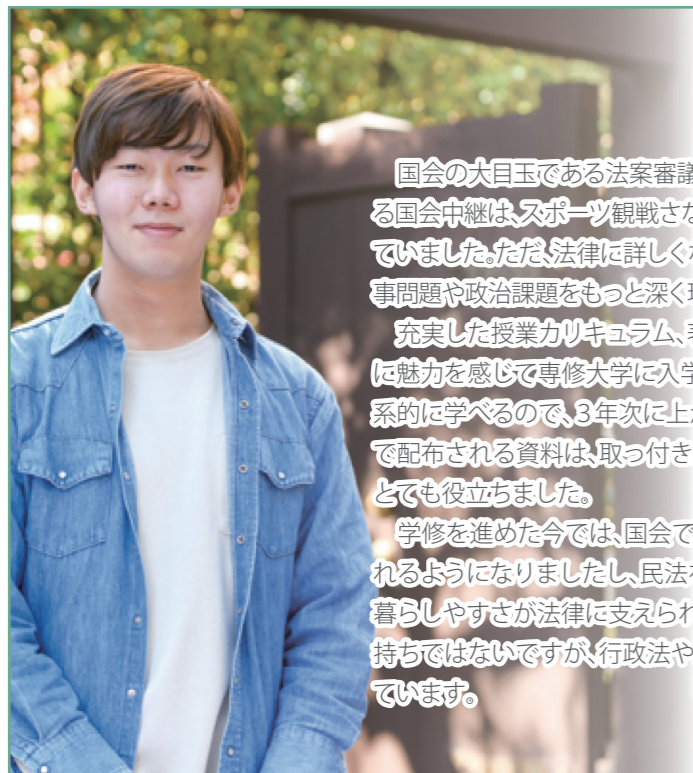
めざす将来に応じて12の履修モデルを1年次から選択して学修を進めます。2年次からは、それぞれの履修モデルの特色ある科目を学び知識を深めていきます。

幅広く明確な進路・進学

民間企業への就職はもちろん、国家公務員や地方公務員、NPO法人等の職員、法律系資格を持つエキスパート、分野に長けた企業人をめざすこともできます。特定の分野に限らず、多種多様な選択が可能です。

4年間の流れ

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|----------|---|----------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 各学年でのねらい | 幅広い知識・教養と、将来の研究に備えた基礎的素養を培う | 履修モデルに沿って専門領域の基礎的な知識を身につける | 基礎から発展へとシフトし、より専門的な学びを深める | それぞれの学修を深め、リーガルマインドを高める |
| 全学部共通科目 | //// 転換・導入科目 //// | //// 教養科目 //// | //// 外国語科目 //// | //// 外国語科目 //// |
| 専門科目 | 12の履修モデルを選択する ①法曹モデル ④国家公務員・地方公務員モデル ⑦一般ビジネス法務モデル ⑩外国の法と法の歴史モデル ②行政書士モデル ⑤警察官・消防官モデル ⑧金融ビジネス法務モデル ⑪国際関係法モデル ③租税法務モデル ⑥裁判所事務官モデル ⑨不動産・建設ビジネス法務モデル ⑫教職モデル | | | |



緻密に計算された授業で “遠くて近きは法律”を知る

国会の大目玉である法案審議。日本社会の在り方に関して与野党の舌戦が展開される国会中継は、スポーツ観戦さながらの熱気に包まれていて、中学生の頃から好んで見ていました。ただ、法律に詳しくなく、その内容はちんぷんかんぷん。法的な観点から時事問題や政治課題をもっと深く理解したい。これが、法学部への進学を決めた理由です。

充実した授業カリキュラム、著名な教授陣、そして手厚い資格取得支援や就職支援に魅力を感じて専修大学に入学しました。1、2年次では法律の基礎を横断的かつ体系的に学べるので、3年次に上がる頃には自然と応用力が養われています。また授業で配布される資料は、取っ付き難い法律の要点が整理されていて理解を深めるのにとても役立ちました。

学修を進めた今では、国会で展開される議論も法の条文と照らし合わせて考えられるようになりました。民法を扱うゼミで数多くの判例に触れたことで、私たちの暮らしやすさが法律に支えられていることを実感する日々です。将来は、縁の下で力持ちではないですが、行政法や憲法を生かした行政に携わる仕事に就きたいと考えています。

法律学科3年 大澤 夕真 さん OSAWA Yuma

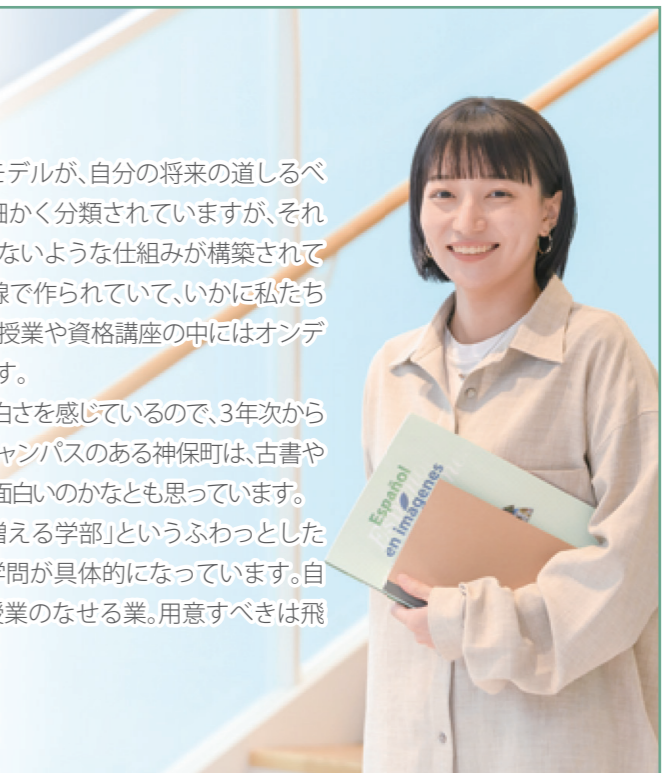
入学する動機は何でもいい。 多彩な授業が未来の扉を開ける

専修大学に決めた理由は、職業別に設定された履修モデルが、自分の将来の道しるべになってくれると思ったのが一つ。もう一つは、法律は細かく分類されていますが、それぞれに「入門」の授業が用意されていて、法律嫌いにならないような仕組みが構築されていたからです。特に憲法の授業は面白く、憲法が国民目線で作られていて、いかに私たちの文化や社会に根付いているかを学ぶことができます。授業や資格講座の中にはオンデマンドで復習できるものもあり、記憶の定着にも便利です。

2年近く授業を受けるなかで、刑事手続法や国際法に面白さを感じているので、3年次からはその専門性を高めていきたいと考えています。それとキャンパスのある神保町は、古書やカレーの聖地でもあるので、街と法を掛け合わせた研究も面白いのかなとも思っています。

「法曹界のドラマが好き」「将来の選択肢が1個でも増える学部」というふわっとした理由で法学部を志望しましたが、今では深掘りしたい学問が具体的にできています。自分では気づかない興味・関心を引き出してくれるのも授業のなせる業。用意すべきは飛び込む勇気だけです。

法律学科2年 茂木 希美 さん MOGI Nozomi



多様な将来像を示す 12の履修モデル

12 COURSE MODELS

法律学科では、近年の学生の多様な志向に対応するため、「履修モデル制」を導入しています。これにより、具体的な履修の道筋(履修モデル)が示され、将来の目標や自己の興味・関心に適した学修ができるようになりました。履修モデルは大きく4つに分類され、さらに詳細な12の履修モデルを設けています。ここでは、専門科目について1年次前期から3・4年次後期までの間に、それぞれの学期で履修を推薦する科目(推奨科目・準推奨科目)を配置し、どの学期にどのような科目を履修したらよいのかモデル例(P11-P12)をもとに紹介します。

法律専門職

Models for Lawyers

弁護士・裁判官といった法曹(そのための法科大学院進学)や行政書士・税理士・国税専門官などの法的知識を専門とした職業をめざす履修モデルです。

01

法曹モデル

基本六法に重点を置き、弁護士や検察官、司法書士に必要な法律知識と法的思考能力を養います。

02

行政書士モデル

憲法、行政法など公法分野や民法を中心に、行政書士の国家資格受験に必要な科目を学びます。

03

租税法務モデル

租税法務に必要な法的知識を学び、公認会計士、税理士、国税専門官などをめざします。



公務員

Models for Civil Servants

国家公務員・地方公務員、警察官・消防官、裁判所事務官(総合職・一般職)などをめざす履修モデルです。

04

国家公務員・地方公務員モデル

公務員、検察事務官、衆議院・参議院事務局職員などに必要な公共法務に関する知識を深めます。

05

警察官・消防官モデル

憲法や警察行政法、刑事法、犯罪学などを中心に学び、行政や法と正義について深く考察します。

06

裁判所事務官モデル

裁判の進行を円滑にサポートする公務員をめざし、裁判や訴訟に関する科目を中心に履修します。



企業法務

Models for Corporate Lawyers

金融業界、不動産・建設業界など、将来、民間企業への就職をめざしたり、職種に関係なく経済社会と法の関係を学ぶ履修モデルです。

07

一般ビジネス法務モデル

会社の仕組みなどについて定める会社法や、企業の経済活動に関わる商法を中心に履修します。

08

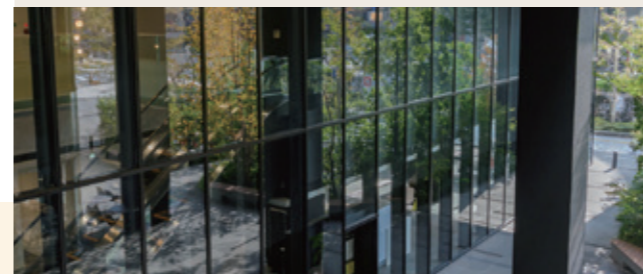
金融ビジネス法務モデル

会社法や商法、その基礎となる民法を中心に、金融業界、金融取引で必要とされる法的知識を修得します。

09

不動産・建設ビジネス法務モデル

宅地建物取引士や不動産鑑定士の試験にも備え、不動産・建設業界をめざします。



研究・教育

Models for Educators & Researchers

国内外の法とその歴史や国際関係をめぐる法と政治を研究したり、中学校社会科、高校地理歴史科・公民科の教員をめざす履修モデルです。

10

外国の法と法の歴史モデル

国内外の法と社会や、その歴史について学び、研究者への道も拓けます。

11

国際関係法モデル

国際機関やNGO職員などをめざして、国際関係をめぐる法と政治の問題を学びます。

12

教職モデル

中学校や高等学校の教師をめざすモデルです。教員免許状の取得には、別途教職課程の受講が必要です。



法科大学院進学プログラム

早期卒業制度を利用して、法科大学院へ進学を希望する法学部法律学科学生の履修計画を示すものです(P26参照)。

回り道はひとつもない。 可能性を開花させよう。

履修モデルは4パターン、12モデルから選択ができ、選択必修科目が統一されているため年次ごとにモデルの変更が容易となっています。学生の皆さんは各モデルの推奨科目と準推奨科目を参考に、志望や関心に応じて自由に専門科目を選択しながら、体系的・効果的な学修をすることができます。

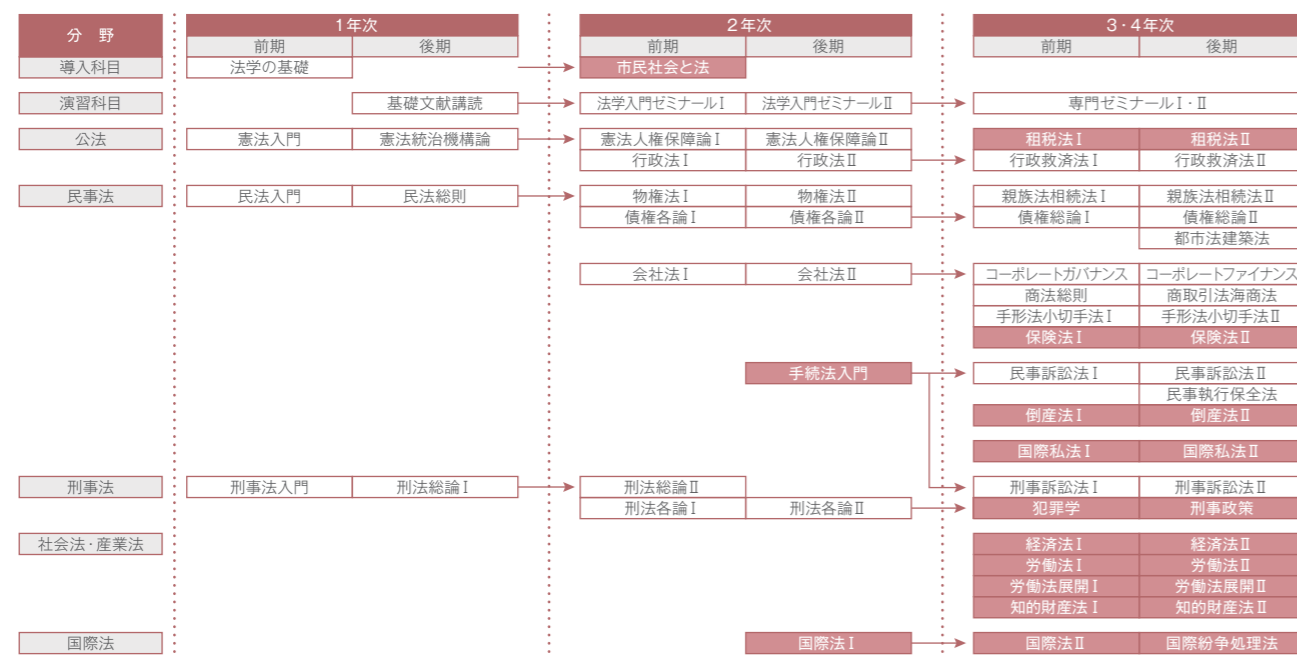
[例]



履修モデル例 法曹モデル

法曹モデルは、弁護士や検察官、裁判官といった法曹(そのための法科大学院進学)や、司法書士などの法律専門職をめざす学生向けの履修モデルです。このモデルでは、憲法、民法、刑法、商法・会社法、民事訴訟法、刑事訴訟法といった基本六法を中心に、法曹や司法書士をめざす人が必要な科目を学修します。

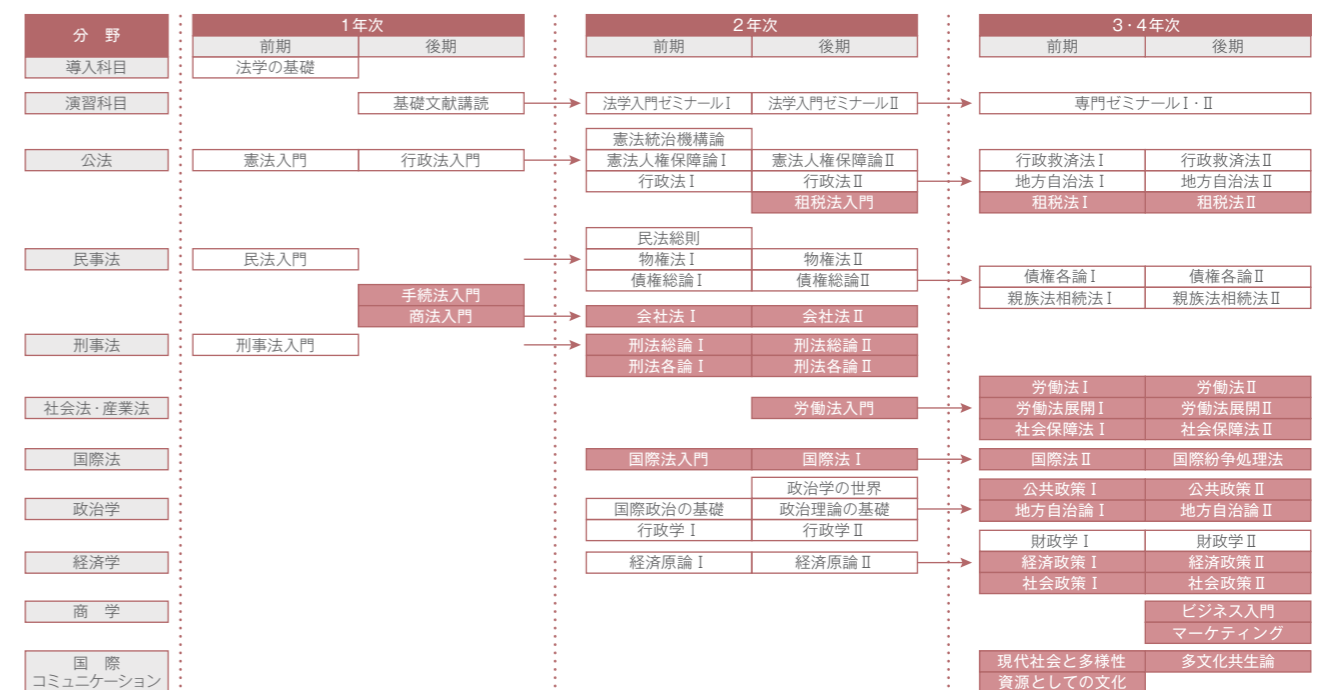
□の科目は、このモデルに基づいて学修する皆さんに履修することを勧めます。
■の科目は、各自の関心に応じて履修してください。



履修モデル例 国家公務員・地方公務員モデル

国家公務員・地方公務員モデルは、国家公務員や地方公務員(上級、上級以外)、検察事務官、衆議院・参議院事務局職員などをめざす学生向けの履修モデルです。

□の科目は、このモデルに基づいて学修する皆さんに履修することを勧めます。
■の科目は、いずれも国家公務員・地方公務員にとって必要な科目ですが、その中から受験科目や各自の関心に応じて履修してください。



専修大学 政治学科の 未来

DATAで見る政治学科

就職率 (2021年度卒業生)

95.5% *Employment rate*

政治学科卒業生

総数 **1,968人** *Number of graduates*

公務員合格者数 (2019~2021年度累計)

61人 *Number of civil servants*

授業満足度 (2022年度前期授業評価アンケートより)

講義科目 **YES**
76.4% *Course satisfaction*
回答者数 5,583人 科目数 164

在学生 県別出身高校

1都1道2府33県 *Prefectural diversity*

INTRODUCTION

人々の価値観や社会像が多様化した現代社会においては、自ら問題を発見しその解決に向けて行動できる人材が求められます。政治学科は、身近な活動から国際紛争までのあらゆる問題に、他者と協働して真摯に取り組む能力とセンスを育成します。

政治学科

Department of Politics

現代社会において、人々の価値観は多様化しています。このことは、価値観の対立による深刻な争いを生む一方で、従来の価値観に囚われない地球規模での新しい連帯の可能性を秘めているとも言えます。国内でも、終身雇用や家族主義といった伝統的システムが崩れる中、物事を考える際の軸はもちろん、私たちの生きる目的そのものが問い直されています。このような時代において、政治学科では、一人ひとりがまずは自立した個人としての価値観と教養を確立させ、社会の様々な問題を主体的に発見・考察し、そして他者と共に問題の解決に取り組んでいけるようになることをめざしています。

政治理論・歴史コース

→ P18

国際政治・地域コース

→ P19

日本政治・政策コース

→ P20

学科の特徴

充実した少人数教育

学生と教員、学生同士の活発なやり取りによって、読む力、話す力、書く力の育成・強化をはかります。

段階的な学修の蓄積

初歩的な学修と専門性の高い学修の橋渡しとして基礎演習Ⅰ・Ⅱを配置するなど、学生が段階的に成長できるカリキュラム設計を行っています。

フレキシブルなコース制度

それぞれの分野を体系的に学修できるよう、学生は3つのコースのいずれかを自由に選択して学びます。

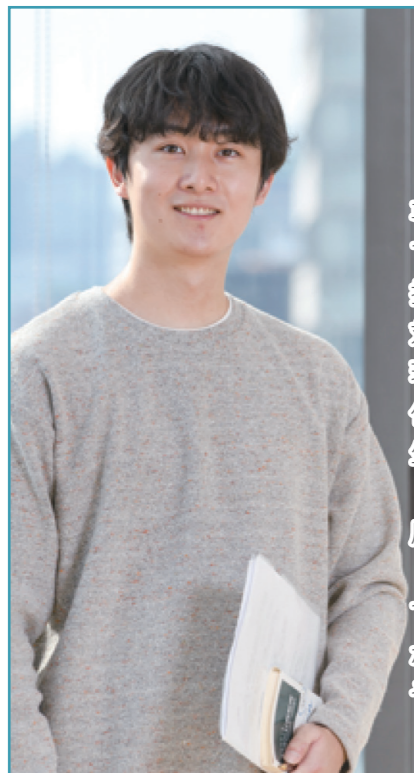
効果的なオフィス・アワー制度

学生一人ひとりの力を伸ばすため、教員と学生との密なコミュニケーションを重視しています。

4年間の流れ

| | 1年次 | 2年次 | 3・4年次 |
|----------|---|-----------------------------------|--|
| 各学年でのねらい | 政治学の各分野の基礎を学びながら、主体的に学ぶ姿勢を身につける | 3つのコースの中から1つを選択し、それを軸に専門的研究の基礎を学ぶ | 関心のある研究テーマのゼミに参加する進路に応じた専門的研究を深める |
| 全学部共通科目 | //// 転換・導入科目 //// | //// 教養科目 //// | //// 外国語科目 //// |
| 専門科目 | 必修 政治学の世界／政治理論の基礎／国際政治の基礎／日本政治の基礎／基礎文献講読 | 選択必修・選択 | 2年次からコースに分かれ、それぞれのカリキュラムにあわせて科目を選択 政治理論・歴史コース ▶ P18 国際政治・地域コース ▶ P19 日本政治・政策コース ▶ P20 |

Department of Politics



人生を切り開く出会いの宝庫。入学と同時にキャリアが始まる

政治・政策の本質を追求したかったのと、公務員試験の高い合格率に惹かれて専修大学で学び始めた1年目、「キャリア入門」の授業で行った自己分析を通して、社会人としての自覚が芽生えました。こうした意識を持ちながら政治学の授業に臨むことができたおかげで、社会課題や国際問題など、様々な時事問題に対して第三者的な視点で解釈できるようになりました。また、2年次に受講した環境政治論の授業をきっかけに、エコロジカルサービスに強い関心を抱き、総合化学メーカーに就職するまでに至っています。そういう意味で4年間に及ぶ大学生活は、自分自身を探す旅のような期間なのかもしれません。

就職活動に関しても、キャリアセンターから必要な時期に取り組むべき情報が届くようになっていたので不安になることはありませんでした。

政治学科の学生は、自身のキャリアデザインの意識が高く、知的好奇心も旺盛です。彼らと一緒に過ごすだけで、いい意味で刺激に満ちた学生生活を送ることができました。心を揺さぶる良質な授業と切磋琢磨し合える仲間。専修大学では、その出会いが待っています。

政治学科4年 佐藤 亘 さん SATO Wataru

自分の価値観を強烈に更新してくれる先生たちの熱量！

高校3年生のときにオープンキャンパスに参加しました。「少人数制の授業」など、法学部の授業カリキュラムなら、警察官になりたいという私の夢に一歩近づける。そう、直感しました。大学独自の公務員試験講座が用意されていて、多くの公務員を輩出していたのも専修大学に入学を決めた理由の一つです。

私の居る政治学科では、世界が抱える様々な社会問題について探求していきます。法律学科の授業も取れるので、政治と法律の両方から社会の仕組みを学ぶことができます。その結果、感情論や印象論に流されず、中立的な立場で国内外の情勢を検証できる力が養われていきます。

2年次からは3つのコースに分かれます。私が在籍する国際政治・地域コースでは、日本以外の諸外国の歴史観や政治形態について考察・分析します。中国の文化に惹かれた私は、中国語検定の取得をするまでに関心が広がりました。その一方で、その道を専門とする先生の授業を受けると、いかに自分の知識が古かったのかを痛感させられます。このように脳内をアップデートさせてくれるのも大学の持つ価値だと思えます。

政治学科3年 高梨 琴海 さん TAKANASHI Kotomi



経済格差、民族紛争、国際テロ、ポピュリズム、危機管理、自然災害、一票の格差、人口減少問題、地域活性化、子供の貧困、移民問題、18歳選挙権、LGBT、超高齢化、身近な問題から世界的課題まで、その解決のためにいま何が必要か。自由とは何か、正義とは何か、これからの国家の形はどうなるのか、歴史をヒントに未来を見通す、グローバルな思考。国際舞台で求められる能力。社会をよりよく変え、すべての人が人生を豊かにまっとうするために。

自分の幸福とみんなの幸福を両立させる方法を。
持続可能な社会システムの構想を。
夢物語ではない平和を。



私たちは変えていくことができる。政治の力。専修大学の力。時代を変えるムーブメントを。



WE ARE THE FUTURE.

政治学を学ぶことは、自立した個人としての価値観の確立から、公共の利益を実現する政策能力の養成、そして国内外の様々な分野で未来を切り開くリーダーシップの育成まで、あらゆる可能性を私たちに与える。



時代とともに
不可能はない。
価値観は変わり得る。

4年後、
私(あなた)たちは
新しい世界を
創る力になる。



学びを実社会へと
つなげよう。

政治理論・歴史コース

政治の歴史と理論を踏まえ、あるべき社会の形を構想する

Political theory Political history



学生の声

student voice

日本人にも、アメリカ人にもなれる。物事の本質を見抜く鋭い洞察力に必要なアイテムは、講義のなかにすべて詰まっています。

講義で学んだ政治の仕組みや背景を武器に、国際関係論のゼミでは欧米の民主主義を中心に洞察を深めていきます。高校生の頃までは「日本から見たイギリス、アメリカ」と単一的な見方しかできませんでした。今では「世界から見た日本」「アメリカから見たイギリス」と、アングルを意図して切り替えられるようになりました。

student voice

自分への期待が高まっていけば、自ずと選択肢も増えていく。偶然をそのまま終わらせない姿勢が、新しい未来を作る。

「社会について語るとき、民間企業で働いてから教員になったほうが子供たちの心に響くのでは」。教授の何気ない一言が心に刺さり、「大学卒業後に教員ではなく、企業勤めを経てから教員」と、大学2年次の12月に人生プランを変更することに。物事を深掘りする講義だけが大学の醍醐味ではありません。心を揺さぶる出会いもまた魅力の1つです。

国際政治・地域コース

国際社会・諸地域の歴史観・政治形態を分析し、理解する

International politics Area studies

分析する政治

世界規模の課題に対処する力をつける

国際社会の政治的な仕組みを理解することをめざします。それには、日々めまぐるしく変化する国際情勢を理解するための「知識」と、それを分析する「方法」を学修することが必要です。諸外国・諸地域を研究対象に、個別の歴史的視点や政治形態について考察し、分析を試みます。国際的に展開する企業、様々な国際機関など、国際的な舞台で要求される能力を養成していくことが目標です。

国際社会の政治的動向

国際情勢の理解

知識

方法

歴史的視点

政治形態

● 国際的な場での能力養成

卒業後の主な進路

「国際」に関心を持つ学生が選択するコースなので、国際的に展開する企業や様々な国際機関で活躍する先輩たちを輩出しています。

学生の声

student voice

“つもり”で満足せず、その先にある知性を磨く

3つのコースの内、国際政治・地域コースを選択したのは、欧州諸国の政治形態や文化に関心があったからです。しかし、アジア地域研究の授業をきっかけに、欧州だけではなく、アジア諸国の魅力に引き込まれました。特に中国の情勢を深掘りしていくたびに、中国に対する印象が劇的に変化しました。表面的な知識で知ったつもりになる危うさを感じたと共に、国際情勢の理解を助ける知識の獲得と、それを分析する方法を知ることの重要性を学びました。

student voice

書物の世界に留まらず、リアルに触れて理解を深める

政治学科に在籍していますが、将来は警察官を志望しているため、法律学科の渡邊ゼミ「犯罪学・刑事政策の諸問題」で、犯罪学・刑事政策の視点から合理的な犯罪対策システムについて考察しています。

3年次の前期では、現在の刑事政策・制度の課題を浮き彫りにしつつ研究テーマを発掘します。私は性犯罪について研究する予定です。夏のゼミ合宿では、刑務所や少年院を訪ね、犯罪者処遇に触れる機会もあり、大変考えさせられるゼミだと思います。

日本政治・政策コース

様々な分野でリーダーシップを発揮できる人材を育成する

Japanese politics Public policy

参加する政治

国や地方の諸課題に取り組む力をつける

グローバル社会では、地方自治体であっても、世界の政治の動向を無視できなくなっています。日本の政治と政策形成のプロセスを理解し、自ら日本の政策を形成できる能力を育てるとともに、国内外の現場でリーダーシップを発揮し、課題解決をはかる人材を育成します。学問的な基盤に立脚し、状況をリアルに分析、現実の政策提言に貢献し、規範的展望を与えられる知見の獲得をめざします。

世界の政治動向

日本の政治政策

日本の政治

政策形成のプロセス

リーダーシップ

状況分析

● 課題解決をはかる人材の育成
● 政治学的知見の獲得

卒業後の主な進路

現状についての具体的な分析や解決策を学び考えるコースなので、国家公務員、地方自治体職員になる先輩たちが多くいます。

学生の声

student voice

知識と思考の蓄積が問題解決能力を高める!

都市政策の形成プロセスを理解したく日本政治・政策コースを選択しました。人口減少問題や公共インフラの老朽化問題といった身近で複雑なテーマを扱った授業は、多彩な映像や資料が用意されているので、問題の全体像や本質に迫ることができ、「解る」という体験の連続です。政策形成のプロセスは思考の過程でもあるので、様々な考え方に触れることで、人生の選択を迫られたときでも多角的にアプローチして考えられるようになります。

student voice

生の声を聴き、社会の諸問題に当事者意識を持つ

日本政治・政策コースで学ぶ中で、日本に近い隣国にも興味を持つようになり、アジアの国際政治と社会をテーマにした吉川ゼミに所属しました。

私のグループの研究テーマは「ムスリム(イスラム教徒)」です。渋谷区にある日本最大のイスラム教寺院・東京ジャーミイを訪ね、和訳アプリを使いながら日本での生活について話を伺いました。閉鎖的と言われる日本社会だからこそ、「多様性」や「らしさ」は他人事ではない問題だと気づかされました。

法学を学ぶとは、私たちの社会の規範やルールについて考えることですが、高校までの教育を受けてきた日本の若者は、法「以前」についても、その「つくられ方」についても、法が「もたらすもの」についても、自分の頭で考えたことがありません。ですから、合わせて政治学と共に、それらを法学部で実践してみてください。

自分の頭で考えられる
市民になるために

[研究分野] 政治学
[主な担当科目] 政治学の世界、デモクラシー論
[ゼミナールテーマ] 市民社会団体の持つ力を考える

OKADA Kenji
岡田 憲治
教授



01

政治学科

私の専門は憲法なので、例えば人権。人間が生まれながらに持つ権利らしいが、目には見えない。憲法に書いてあるのだが、条文はおおざっぱ。社会では尊重されたり、否定されたり。授業や論文ではどう語るべきか、ずっと迷っている。私がナイーブなだけなのかもしれないが、よかったら一緒に勉強して、答え探しにあがいてみませんか。

法を学んでみて、
まだわからないこと

[研究分野] 憲法
[主な担当科目] 憲法人権保障論Ⅰ、憲法統治機構論
[ゼミナールテーマ] 憲法学の基本原則と諸問題

KUBOTA Yusuke
久保田 祐介
准教授



02

法律学科

法学は、他の学問分野と比べ、公務員試験の他、司法試験や司法書士、宅建士などの資格試験に合格するために圧倒的に有利な上、社会生活を円滑に営む上でも役立ちます。このため、法学は、最初は自分のために学び始める人がほとんどですが、深く勉強すると、究極的には人々が幸福に暮らせる社会を作るためのものであることがわかり、やがて、人々のために学ぶ人も増えてきます。

最初は自分のために学び、
やがて人々のために用いる。

[研究分野] 刑法
[主な担当科目] 刑法各論Ⅰ・Ⅱ、刑法総論Ⅰ・Ⅱ
[ゼミナールテーマ] 刑法学の諸問題

SASAKI Kazuo
佐々木 和夫
准教授



03

法律学科

法律は見方・使い次第では、色々な「カタチ」に変化します。たとえば、法律を知っていれば、社会生活を過ごすうえで自分の武器にもなりますし、防具にもなります。あるいは、国内外問わず、社会で生じている様々な問題への洞察を深めるための顕微鏡にもなりえます。そのような法学の多様性の楽しさを一緒に学んでいきましょう。

法律学のいろんな「カタチ」

[研究分野] 商法、会社法、金融商品取引法
[主な担当科目] 金融商品取引法Ⅰ・Ⅱ、商法総則、商取引法海商法
[ゼミナールテーマ] 企業法を学ぶ

SAWAYAMA Hirofumi
澤山 裕文
准教授



04

法律学科

特殊詐欺問題、Twitter名誉毀損、ゴミの不法投棄など、私たちの社会生活では、新たな問題が次々と出現しています。こうした現代の問題に対処するためには、まず社会の基礎となるルール(法)があり、それを発展させて解決しています。大学では、社会の動向に敏感になり、どのような法が社会の中で機能しているか考えてみましょう。

現代における社会問題を
法的側面から考えよう

[研究分野] 民法(不法行為法)
[主な担当科目] 債権各論Ⅰ・Ⅱ、環境法
[ゼミナールテーマ] 民法(不法行為法・環境法)の基礎と実践

SUKA Noriko
須加 憲子
准教授



05

法律学科

弁護士を目指していないから、法学部には興味がない?それはもったいない。法学の基本は、(原告や被告といった)ひとつの立場に立って、論拠を吟味しそれを示した上で、反論を想定しつつ説得的な議論を展開することです。これは、社内の報告書でも取引先へのプレゼンでも、至る所で必要とされる“コミュニケーション”スキルではないでしょうか。

法律家だけなんて
もったいない!

[研究分野] 英米法、民事司法制度
[主な担当科目] 英米法Ⅰ・Ⅱ
[ゼミナールテーマ] 英米の判例を読む

TAKAHASHI Shuichi
高橋 脩一
准教授



07

法律学科

国際社会には190以上の国家が存在しますが、国内社会における中央政府のような「世界政府」がないという意味で「無政府状態(アナーキー)」にあると言われる。アナーキーな国際社会では、国家間の力関係がより露骨にあらわれやすいという特徴が指摘されますが、そのなかでいかに安定を模索していくのか考えていきましょう。

世界政府のない国際社会で
いかに安定を模索するのか?

[研究分野] 国際政治、ドイツ外交
[主な担当科目] 国際政治の基礎、国際政治史Ⅰ/Ⅱ、国際統合論
[ゼミナールテーマ] 国際政治の歴史と現在

SENOO Tetsuji
妹尾 哲志
教授



06

政治学科

私は高校3年の頃、日本で生きるコリアンの友人と出会いました。そこから「民族ってなんだろう」「どうすれば人権を守れるか」「民主主義って社会に役立つか」などのなぜが心に浮かび、人と人が共存する術、政治学を学び始めました。あなたはどんな人に出会い、どんななぜを抱えていますか。そのなぜと一緒に考えましょう。

日本社会で、民族、人権、
民主主義を考える

[研究分野] 近現代日本の治安維持政策の歴史
[主な担当科目] 現代日本政治論Ⅰ・Ⅱ
[ゼミナールテーマ] 近現代日本のセキュリティと政治社会

MIYACHI Tadahiko
宮地 忠彦
准教授



08

政治学科

資格課程



教職課程

中学校、高等学校の教員養成を目的とするもので、中学校教諭一種免許状(社会)および高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民)が取得できます。将来、教職に就く意志のある学生は、教職課程を受講し、免許状を取得しなければなりません。

司書課程

公共図書館や大学図書館など、利用者に対して適切に資料を提供する司書の養成を目的とする課程です。本学所定の単位を修得し、かつ、学士の学位を取得した者は、本学発行の「司書資格取得証明書」を取得することができます。

司書教諭課程

児童・生徒に対する図書館利用や読書指導、教員の図書館活用の支援などを行う小・中・高等学校の学校図書館の司書教諭の養成を目的としています。教員免許状を持つことが条件で、文部科学省発行の「学校図書館司書教諭講習修了証書」を得ることができます。

学校司書課程

学校司書課程は、初等・中等教育の基礎をなす学校図書館の職務に司書教諭と協働しながら従事する職員である学校司書の養成を目的としています。本学所定の単位を修得し、かつ、学士の学位を取得した者は、本学発行の「学校司書課程修了証明書」を取得することができます。

学芸員課程

博物館において、資料の収集・展示・保管・調査研究・その他これに関連する社会教育的活動などの専門的な仕事に携わる博物館の学芸員の養成を目的とする課程です。本学所定の単位を修得し、かつ、学士の学位を取得した者は、本学発行の「学芸員資格取得証明書」を取得することができます。

上記内容は抜粋となります。詳しくはホームページをご覧ください。

国際交流



レベル・目的にあわせて選べる多彩なプログラム、 国際交流協定校18カ国・地域26大学

本学では初級から上級まで、多彩な留学プログラムを豊富に用意しています。また、留学や語学力向上をめざす学生のためのLanguage Skills Program(留学支援講座)や留学中の経済支援を行うスタディアブロード・ファイナンシャルサポート(奨学金・補助金)制度も充実。これらを活用して学生一人ひとりの目的やレベルにあわせて在学中にステップアップが可能です。学生時代の留学で得た貴重な経験は、将来の人生設計に大きな影響を与えるでしょう。

寮内留学プログラム

専修大学国際交流会館にレジデント・パートナーとして入寮し、留学生との協働生活で、日本にしながら留学体験ができるプログラムです。

留学生との協働生活を通じて、異文化理解力や国際コミュニケーション力を養い、グローバル人材の育成を目指します。



グローバルフロア

神田キャンパス10号館15階にあるグローバルフロアでは、各種プログラムやグローバルフロアイベントを開催しています。また、グローバル人材育成の情報発信基地として、外国語の学習書や留学関連書籍等を配架しており、自習スペースとしても活用できます。



課外講座



法律専門家をめざす

法律総合講座

法律総合講座は、法曹(裁判官、検察官、弁護士)などの法律専門家をめざす学生のための講座です。現役の弁護士が講師を務めるため、最新の実務を踏まえた講義を聴くことができ、法科大学院受験に必要な知識が、確実に身につきます。また、スタッフによる個別面談も行っており、受講生の様々な質問や相談に応えます。

1年 法律科目入門講座Ⅰ期

法曹に必須である、法律7科目のインプットを2年間かけて行います。1年目は、法律科目の基本である、憲法・民法・刑法を、外部予備校のオンラインを用いて効率よく学びます。併せて本学OBの弁護士が、ゼミ形式による学習進捗状況確認・指導を定期的に行うことで、無理なく知識の定着を図ります。

2年 法律科目入門講座Ⅱ期

2年目は、残りの4科目(商法・行政法・民訴法・刑訴法)を学びます。1年目同様、外部予備校のオンラインを用いて効率よく学び、併せて本学OBの弁護士による指導を行います。

3年 法曹実力講座Ⅰ期

法曹必須七法についてソクラテス・メソッドシステムと論文答案作成などのアウトプットを併用し、法律専門家に必要とされる具体的事例の解析能力修得をめざします。

4年 法曹実力講座Ⅱ期

法科大学院入試直前まで論文答案の書き方を実践的に学びます。また、スタッフが様々なフォローを行います。

公務員をめざす

公務員試験講座

公務員試験講座は、国家公務員、地方公務員、警察官、消防官をめざす学生のための講座です。公務員試験の合格に必要な知識と技術を学べるプログラムです。公務員試験を熟知した講師が、最新の傾向を踏まえた講義を展開します。また、講師とスタッフによる個別面談も行っており、受講生の様々な質問や悩みに応え、公務員をめざす学生が内定を獲得できるようサポートします。

1年 公務員試験入門講座

時間的に余裕のある1年次のうちに、公務員試験において必要不可欠で、本学学生の多くが苦手とする「数的処理」及び「人物試験対策」に特化した先取り学習をすることにより、公務員試験合格の基礎固めをします。

2年 基礎力充実講座 ※他講座の修了要件はありません

公務員試験の最重要6科目(数的処理・憲法・民法・行政法・経済原論・政治学)の基礎を固めます。
◎ 国家総合職選抜コース1(選抜制)

3年 実力完成講座 ※基礎力充実講座の修了が要件です

基礎力充実講座で学んだ6科目の応用を学びます。また、6科目以外の必須科目や、人物試験対策も行い、公務員試験に合格できる実力を完成させます。
◎ 国家総合職選抜コース2(選抜制)

4年 市役所試験(教養型)対策講座 ※他講座の修了要件はありません

警察官・消防官試験対策講座 ※他講座の修了要件はありません

資格取得への挑戦を手厚く支援

専修大学のほとんどの講座が学内で受講できるので、学外の受験指導専門学校へ通う通学時間を短縮できるほか、費用の面でもリーズナブルに受講が可能です。

学生支援情報



奨学金制度

- スカラシップ入試奨学生 …………… スカラシップ入試の合格者に対し、4年間で授業料相当額と施設費相当額を支給
- 学術奨学生 …………… 学業成績優秀者に対し30万円を一括支給(当該年度のみ)
- 専修大学進学サポート奨学生 …………… 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)以外の高等学校等出身者に対し、4年間で授業料の半額相当額を支給
- 家計急変奨学生 …………… 経済的理由により修学が困難になった者に対し、授業料40%相当額を一括で支給(在学中1度のみ申請可能)

その他の支援

- 学生相談室 …………… 学生生活にかかわる様々なことを相談できる窓口
- 障がい学生支援室 …………… 障がいのある学生が学修や研究に取り組むことができるよう支援する窓口
- キャンパス・ハラスメント対策室 …………… 快適に勉強する環境づくりのため、あらゆるハラスメントに対応する窓口

キャリア形成支援プログラム



主なキャリア形成支援プログラム(例)

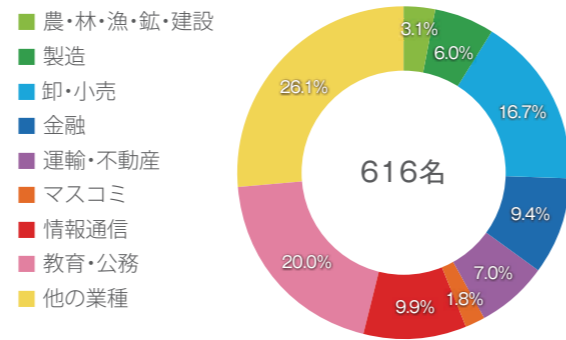
| 就職活動の準備に関するプログラム | 職業や業界・企業の見方を学ぶプログラム | 採用選考試験対策に関するプログラム | 企業や先輩と出会うプログラム |
|--|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■就職ガイダンス ■履歴書・エントリーシート対策講座 ■内定者パネルディスカッション ■就職活動・インターシップNGマナー ■身だしなみセミナー | <ul style="list-style-type: none"> ■How to企業研究 ■企業研究セミナー ■業界・職種・企業研究の第一歩 ■B to B企業トークライブ ■ブラック企業の見分け方 ■人を「幸せ」にする企業の法則 | <ul style="list-style-type: none"> ■SPI試験準備講座 ■プレゼンテーション強化セミナー ■グループディスカッションのポイント ■面接のイロハ ■面接対策・攻略セミナー ■模擬選考会(グループディスカッション・集団面接) | <ul style="list-style-type: none"> ■学内企業説明会 ■公務員等業務説明会 ■学内OB・OG相談会 ■U・Iターン就職講座 ■U・Iターンフェア |

法学部 / 2021年度卒業生

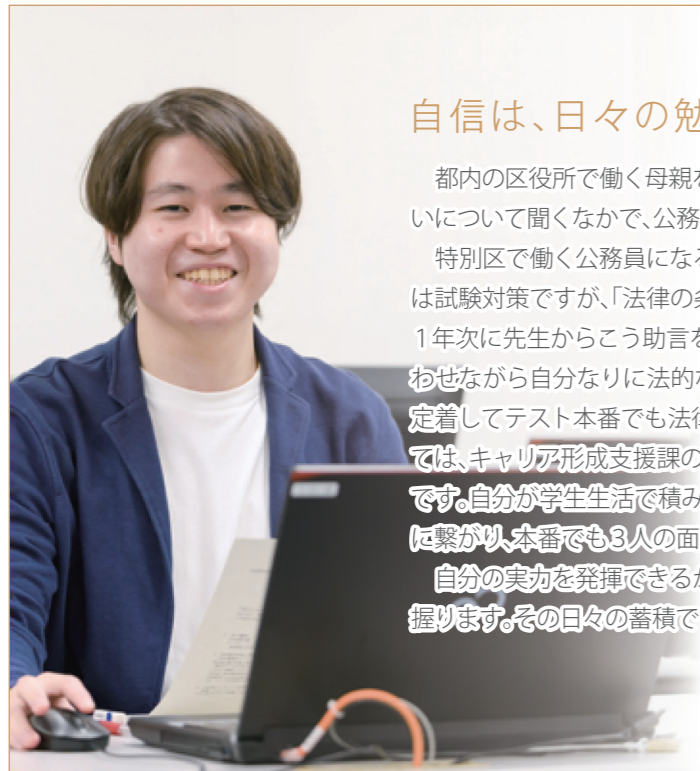
就職実績

積水ハウス株式会社 / 住友林業株式会社 / ネスレ日本株式会社 / 株式会社いんべん / エステー株式会社 / リンナイ株式会社 / TDK株式会社 / 株式会社日本アクセス / 株式会社りそな銀行 / 株式会社常陽銀行 / 野村證券株式会社 / 明治安田生命保険相互会社 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 / 中央労働金庫 / 株式会社NSD / 株式会社ゼンリン / 株式会社ジャストシステム / デロイト トーマツファイナンシャルアドバイザー(合) / トランスコスモス株式会社 / 日本放送協会(NHK) / 国家公務員一般職 / 国税専門官 / 東京都庁 / 東京都特別区I類 / 東京消防庁 / 警視庁警察官

業種別就職状況



INTERVIEW



内定が決まってる4年次

自信は、日々の勉強の集積からしか生まれない

都内の区役所で働く母親を持つ親友から、区役所での業務内容や仕事のやりがいについて聞くなかで、公務員という職業に興味を持つようになりました。

特別区で働く公務員になるには試験と面接を通過しなければなりません。まずは試験対策ですが、「法律の条文を暗記するのではなく、その本質を理解しなさい」。1年次に先生からこう助言を受けたおかげで、判例と出合ったら条文と照らし合わせながら自分なりに法的な解釈を試みる。こうした勉強を続けた結果、記憶が定着してテスト本番でも法律関係が得点源になりました。面接の受け答えに関しては、キャリア形成支援課の担当者から背中を押してもらえたことが大きかったです。自分が学生生活で積み重ねてきたことが間違っていなかったと思えて自信に繋がりました。本番でも3人の面接官としっかり言葉を交わすことができました。

自分の実力を発揮できるかは、毎回の授業やゼミに真摯に向き合う姿勢が鍵を握ります。その日々の蓄積でしかなく、何か特別なことをする必要はありません。

東京都特別区一類に内定 法学学科4年
松田 輝星 さん MATSUDA Hikaru

法科大学院



「議論による問題解決能力」を修得させる教育

専修大学法科大学院は、将来の法曹を養成するための実践的な教育を行うことを目的に専門職大学院として設置されました。法科大学院では、講義を中心とした法理論教育を行うことで基礎的で汎用性のある法的学識を身につけさせ、それを基に、演習形式による応用的な法理論教育、実践的な実務教育を行うことで、法曹に必要な議論による問題解決能力を修得させます。



大学院 法学研究科



法学専攻(修士課程)と民事法学専攻・公法学専攻(博士後期課程)で構成

1954年の設立以来、半世紀以上の歴史を刻む大学院法学研究科は、法学専攻(修士課程)と民事法学専攻・公法学専攻(博士後期課程)で構成されています。修士課程では法学・政治学の研究者や税理士などの専門職業人、公務員といった職業をめざす人や、学修の継続を希望する人など多様な学修の途が開かれています。博士後期課程では、法学・政治学の研究者養成を中心としながらも、併せて高度専門職業人の養成もめざしています。



早期卒業制度について

大学院(法科大学院等専門職大学院を含む)への進学希望者で、3年次修了時に卒業に必要な所定の単位の修得(124単位)と3年間のGPAが3.00以上、且つ大学院への入学手続きが完了している場合に、学生自ら申請することによって早期卒業(在籍期間3年で卒業)することができます。

法科大学院進学プログラム

法科大学院へ進学を希望する法学部法律学科の学生が、早期卒業制度を利用して3年次で卒業し、法科大学院に進学することができる制度です。定員があります。希望者の数が定員を超えた場合は、1年次の学業成績で選抜が行われます。

※法科大学院進学プログラム、大学院特別進学制度ともに、詳細は1年次で実施するガイダンスでお知らせします。

大学院特別進学制度

大学院(法科大学院を除く)へ進学を希望する学生が、早期卒業制度を利用して3年次で卒業し、大学院に進学することができる制度です。定員はありません。対象者には2年次から指導教員が配置され、履修登録等の指導を受けることができます。

専修大学 法学部

SENSHU UNIVERSITY SCHOOL OF LAW FORUM

本誌に関するお問い合わせ

専修大学法学部・教務課

TEL.03-3265-3821

(法学部直通)

※掲載している学生の学年は取材時のものです。

※新型コロナウイルス感染症対策の
ガイドラインに従って撮影をしています。